



いずみさき

平成22年
11月1日
発行

No. 6

議会だより

輝く未来の

子どもたちへ



(幼稚園運動会)

目次

- 2～4 ページ…… 議会報告 9 ページ…… 議会活動
インフォメーション
5～8 ページ…… 一般質問 10ページ…… 活動報告・編集後記

平成22年 第3回(9月) 泉崎村議会 定例会報告

＊会期：平成22年9月9日
～9月16日(8日間)

＊提出議案等

- ・認定 4件
 - ・報告 2件
 - ・議案 11件
 - ・発議 2件
- ＊全て原案のとおり
可決しました。

＊一般質問：4名

＊陳情書2件

＊全て採択となりました。



議決議案等

【認定第1号】平成21年度泉崎村歳入歳出決算の認定について

◇「一般会計歳入歳出決算」については、歳入総額34億7千8百8万8千17円、歳出総額33億7千3百5万6百82円で、差引額は1億5百3万7千3百35円となり、うち1千9百86万7千2百50円が繰越明許費繰越額で、実質収支額は8千5百17万85円の黒字となりました。「国民健康保険特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額7億5千1百27万1千9百56円、歳出総額6億9千9百39万6百3円、実質収支額は5千1百88万1千3百53円となりました。「介護保険特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額3億6千7百64万8千1百39円、歳出総額3億5千5百6万2千2百69円で、実質収支額は1千2百58万5千8百70円となりました。「農業集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額3億8千7百56万3千4百27円、歳出総額3億7千1百32万7百7円、実質収支額は1

千6百24万2千7百20円となりました。

「後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額4千5百38万8千7百81円、歳出総額4千5百22万5千9百円、実質収支額は16万2千8百81円となりました。

「老人保健特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額5百1万1千1百59円、歳出総額4百74万3千4百22円で、実質収支額は26万7千7百37円となりました。「介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額3千9百21万4千1百90円、歳出総額3千71万50円、うち8百50万4千1百40円が繰越明許費繰越額で、実質収支額は140円となりました。「国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算」については、歳入総額1千1百98万5千5百10円、歳出総額8百28万5千5百10円で、差引額は3百70万円となり、うち3百67万円が繰越明許費繰越額で、実質収支額は3万円となりました。

【認定第2号】平成21年度泉崎村水道事業会計決算の認定について

◇収益的収入2億5千4百59万5千9百3円、収益的支出2億3千8百58万1千4百19円で収支差引額1千6百1万4千4百84円が当年度純利益となりました。

【認定第3号】平成21年度泉崎村工業用地造成事業会計決算の認定について

◇収益的収入4百43万8千2百60円、収益的支出36万1百17円で収支差引額4百7万8千1百43円が当年度純利益となりました。

【認定第4号】平成21年度泉崎村住宅用地造成事業会計決算の認定について

◇収益的収入7千9百32万9千4百78円、収益的支出6千7百26万5千9百28円で収支差引額1千2百6万3千5百50円が当年度純利益となりました。

【報告第5号】平成21年度決算に基づく健全化判断比率の状況について

◇地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条及び第22条の規定により、平成21年度決算に基づく健全化判断比率の状況について報告をしたものです。
＊実質公債費比率 18.1％
(前年度23.2％)
＊将来負担比率 159.0％

(前年度143.7％)

【報告第6号】村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件

◇地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、泉崎観光株式会社第21期の経営状況の報告を受けたものです。

【議案第46号】泉崎図書館設置条例

◇地方自治法244条の2第1項及び図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するため図書館を設置することから条例を制定するものです。

【議案第47号】泉崎村地域開発事業に係る土地売却に伴う精算について

◇公営企業における資産処分に伴う精算を行うためのものです。

【議案第48号】平成22年度泉崎村一般会計補正予算(第2号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6千3百71万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ44億1千31万円とするものです。

総務文教常任委員会

◇平成22年9月9日木曜日、平成22年第3回(9月)議会定例会が開会され、初日、本会議において陳情書2件の審議が総務文教常任委員会に附託されましたので、同日午後、常任委員会を開催し審議いたしました。「複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書提出」方



(3)議会だより
平成22年11月1日

議会だより(2)
平成22年11月1日

【議案第49号】平成22年度泉崎村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1百53万円とするものです。

【議案第50号】平成22年度泉崎村老人保健特別会計補正予算(第2号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ26万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1百61万9千円とするものです。

【議案第51号】平成22年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ19万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4千7百8万1千円とするものです。

【議案第52号】平成22年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第1号)

【議案第53号】平成22年度泉崎村介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に変更せず、財源内訳の変更を行うものです。

【議案第54号】平成22年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算(第1号)

◇土地売却面積を3万99.76㎡に改め、既定の収益的収入から2億8百30万3千円を減額し、収益的収入の総額を6億2千6百93万4千円とし、既定の収益的支出から1億8千90万3千円を減額し、収益的支出の総額を4億7千5百60万4千円とするものです。

【議案第55号】泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第1号)

◇土地売却面積を1万8千3百82.30㎡に改め、既定の収益的収入から2千7百78万9千円を減額し、収益的収入の総額を6億1千90万5千円とし、既定の収益的支出から2千1百52万4千円を減額し、収益的支出の総額を5億3千2百37万4千円とするものです。

【議案第56号】泉崎村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

発議

【発議第5号】複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書の提出について

提出者 総務文教常任委員長

総務文教常任委員長

◇発議は、総務文教常任委員会にて採択となった陳情2件「複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書提出」方の陳情及び「2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」方の陳情について、議員発議として村議会に提案し、審議・議決

陳情

◇「複式学級解消、小規模学校における教職員の配置基準の改善を求める意見書提出」方の陳情

提出者 福島県教職員組合 執行委員長 福島県教職員組合 西白河支部長

◇「2011年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」方の陳情

提出者：福島県教職員組合 執行委員長 福島県教職員組合 西白河支部長

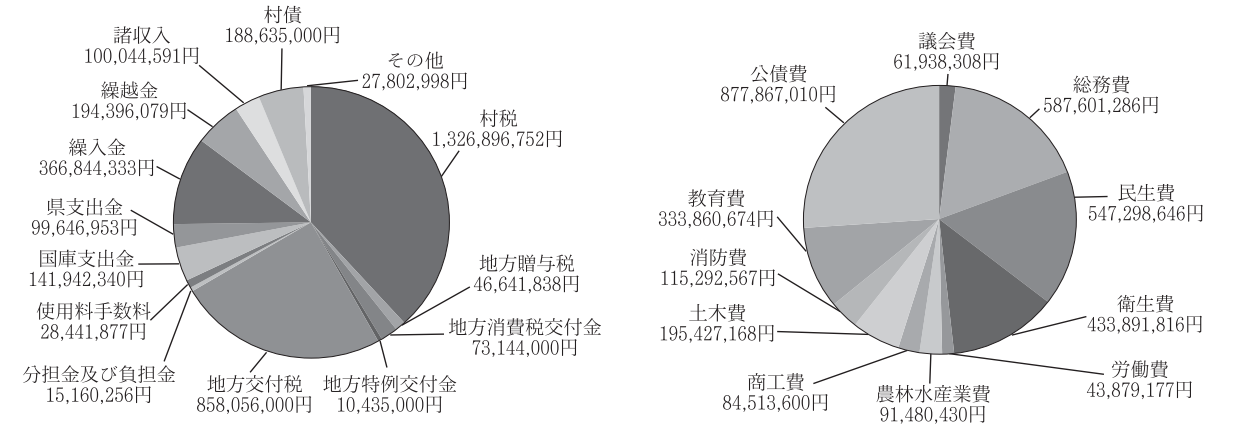


平成21年度決算を認定しました。

【平成21年度泉崎村一般会計歳入歳出決算の概要】

【歳入総額 3,478,088,017円】

【歳出総額 3,373,050,682円】



・繰越明許費繰越額19,867,250円、実質収支額85,170,085円

【平成21年度の主な事業実績】

- ・定額給付金事業 111,160,615円・・・給付世帯 2,184世帯
- ・子育て応援特別手当事業 4,540,997円・・・給付人数 110人
- ・緊急雇用創出基金事業 6,308,448円・・・雇用人数10名
- ・地域雇用創出推進事業 10,784,109円・・・雇用人数延べ18名
- ・在宅福祉事業 7,553,623円・・・地域包括支援センター運営事業、高齢者生きがい活動支援通所事業、軽度生活支援事業、緊急通報体制等整備事業、給食サービス事業等
- ・放課後児童健全育成事業 32,236,535円・・・年間延べ人数 20,042人
- ・重度心身障害者支援事業 16,720,922円・・・重度心身障害者医療費補助事業、人工透析患者通院交通費補助事業等
- ・地域生活支援事業 5,344,628円・・・日常生活用具給付事業、日中一時支援事業、移動支援事業等
- ・障がい者自立支援事業68,499,263円・・・居宅介護事業、生活介護事業、身体障害者・児童装具給付事業、旧施設支援事業等
- ・予防事業 10,275,521円・・・予防接種、結核検診等
- ・母子保健事業 4,965,133円・・・妊婦健診、乳幼児健診・健康相談、育児教室等
- ・老人保健事業 10,302,045円・・・胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診、肝炎ウィルス検診、脳ドック等
- ・雇用促進住宅購入事業 32,605,000円・・・雇用促進住宅土地及び建物の購入
- ・農業集落排水事業 96,501,300円・・・屠胴原地区（管路工、マンホール工等）
- ・その他・・・道路改良舗装・維持補修事業、防犯灯設置（43ヶ所）、育英基金貸付事業等

一般質問

鈴木盛利 議員

一、健康診断について
二、県道139号バイパスについて



一、健康診断について

鈴木 まず何種類、何項目の検診が行われ各検診対象者の検診率をお尋ねします。次に検診種類の年齢制限の意図この説明を。また乳癌検診の偶数年齢受診の意味、それから子宮頸がん予防ワクチン接種の考え方について、このワクチンは賛否両論あるようですがお尋ねします。

保健福祉課長 特定、結核、肺癌、大腸癌、胃癌、肝炎ウイルス、乳癌、子宮頸癌、骨粗鬆症検診の八種類で特定検診では既往歴の調査、身長・体重・胸囲、血圧、BMIの測定、自覚・他覚症状の有無、肝機能、血中脂質、血糖、尿検査の9項目の検査が行われております。（平成21年度検診率実績下表参照）
年齢制限の意図ですが、特定検診・乳癌検診につきましては厚労省保険局の指針により実施しています。子宮頸がんワクチンですが国の動向に注意したいと思っ

二、県道139号バイパスについて

村長 子宮頸がん予防ワクチン接種の考え方ですが、このワクチン、議員が言うように賛否両論あるようですが、厚労省が概算要求するくらいですから、懸念される後遺症、副作用等クリアされるようであればある程度真剣に考える問題だと思えます。

鈴木 未開通になっている県道母畑・白河線バイパスの現在の状態と今後の村当局の考え方についてお尋ねします。
この質問の経緯を少し説明します。去る7月21日の朝8時頃、関和久下町地内のバイクと乗用車との接触事故の後、バイパス工事中断のことを西白河郡選出県会議員と話をし、現在の実態と県の考え方を聞いてもらい、土地の売買契約に至らない地権者はほんの数名、それと計画は中止でなくて休止という情報を得て気を良くしていたところ、関和久四辻で8月15日、二件目の死亡事故が発生してしまいました。バイパスの早い開通を目指し、関和久地内の交通量の減少を願っているの質問とします。

建設水道課長 たしかにこのバイパスは、議員ご承知のように、あくまでも中止ではなくて休止ということですが、それから理解を得られなかった地権者の方々には、今後とも県及び関係者と連絡を密にして理解を得られるよう努力してまいります。
関和久四辻ですが、ここはバイパスとは別に考えなくてはならないと思います、県に交差点の改良を申し上げましたが、県で何らかの理由で出来ないと思えば村として考えなければいけないということ、建設課のほうには指示しているところですが。
買収にに応じていただければ村としても真剣に取り組んでやりたいと思っておりますので、議員も側面からバックアップしていただければありがたいと思っております。



一般質問

小林凱男
議員

一、農業用地（耕作放棄地）について

二、特定健診（メタボ健診）について



一、農業用地（耕作放棄地）について

小林 農業を取り巻く環境は、年々厳しさを増し特に担い手の高齢化や後継者難により耕作放棄地が年々拡大している。

村内においては全体で60軒と発表されましたが、この中で再生可能な35軒の農地に対する考え方について。産業振興課長 農地法の改正により、農地の有効活用や耕作放棄地の解消について、農業委員会の権限が強化されました。毎年一回農地利用状況の調査を実地し耕作放棄地は正に向け、農地所有者への指導・勧告を図る。

また村内の農業就業の構造を考えた場合に、広域的な観点から選択肢を広くして、耕作放棄地の解消に取り組んで行く必要があると考えている。

小林 農業の担い手不足や後継者育成について。

産業振興課長 認定農業者を組織して総会、役員会等を通じた交流情報交換を図り、また担い手への土地

の集積、団地化等調整金を設定のうえ推進しているところ。後継者育成について今年度は不況の影響で就職先もなく新規就農者が増えたとの報道もありましたが、過去10年間の村の新規就農者は7人でした。就農支援金の貸付けや就農相談支援は、県南農林事務所が窓口となっているが、村の後継者対策としての事業実績はないが、今後農林事務所との連絡調整のもと、対策としてできるものがあれば検討していきます。

小林 村内において耕作放棄地は年々拡大しているのかどうか。産業振興課長 20年、21年については拡大面積はない。22年度に入り約40a弱の放棄地解消が確認されています。



村内に点在する耕作放棄地

二、特定健診（メタボ健診）について

小林 メタボリック症候群を減らし将来の医療費抑制を目指し20年度から始まった40歳から74歳を対象とした国保加入者の健診受診率が低迷、このままの状況が続くと各市町村にペナルティが課せられるとのことで各自治体とも受診率向上を目指し対策を検討、取り組みを図っている。村の22年度までの受診率について。

保健福祉課長 特定健診受診率は20年度対象者1千3百62名中501名で36.8%、21年度対象者1千3百92名中569名で60.9%、22年度については5月の特定健診及び7月と8月の施設健診で38.6%となっています。

小林 受診率向上を図るべく考え、取り組みについて。保健福祉課長 実施時期を5月24日から29日の6日間とし、土曜日を入れ利便性を図り、また都合により受診出来なかった方には、7月から8月に施設健診を実施、また保健協力員の協力を得て、未受診者宅を訪問



特定健康診断の様子

し受診率の向上を図っています。

小林 平成24年度の受診率が65%に満たなかった場合に、25年度以降の後期高齢者医療制度への支援金が10%加算される可能性があるが、そのような理解でよいのか。

保健福祉課長 19年度に厚労省で考えを示した以後、情報的なものはなく、現在もそのままの状況です。



一般質問

岡部英夫
議員

一、土地の販売状況について

土地の販売状況について

岡部 土地の販売状況についてお尋ねします。

現在、泉崎村は、県より借り入れしている振興基金の残高15億6千9百万円を来年の3月までに返済しなければならなく、そのため村は全力を挙げて土地の販売に努力をしていることと思えますが、現在の工業団地の販売状況、住宅団地の販売状況、また、両団地の販売に関して新しいPR方法や企画があったらお聞かせ願います。

土地販売促進課長 工業団地の販売につきましては、

現在のところ、株式会社大野運輸様へ5月21日に7千4百46.98㎡売却しました一件のみです。このほかには、既存の企業に隣接する宅地、雑種地などを3件、年内契約に向けて調整が進んでいるところ。次に住宅団地関係については、これまでに売却したのは、2件2区画のほか、買い増し2件で契約件数4件が売却済みとなっております。このほかには予約が6件です。

岡部 工業団地の大野運輸さんの売却済み、そのほかの契約に向けて調整中の3件、昨年以前より交渉していたものだと思いますが、

景気の悪い今大変なことだと思えますが努力をお願いいたします。住宅団地これも景気とかで大変なことだと思えますが、泉崎村の中で民間企業が分譲しているところは住宅も建っています。村の住宅団地はここ数年販売が伸び悩んでいます。その原因はどこにあるのか、あればどのように対処していくのかお聞かせ願います。また、新しいPR方法、企画は回答がないので、ないものと理解します。

土地販売促進課長 売れない原因には、今の経済情勢、

社会情勢などによる雇用問題などいろいろあると思いますが、団地のほうからは、環境面として、臭い問題もあります。また近隣と比較して価格が高めに思われているところもあります。臭いの問題は、今、取り組みを行っているところであります。

岡部 今、社会情勢、経済情勢いろんなことが関連していること。ほかに、答弁の中にあったように臭い問題で30件以上のキャンセルがあったと聞きます。これは大きな問題ですが徐々に解決していくしかないのかと思えます。価格の問題は、今いろんな奨励金をつけて実質の値下げをしていますが、この奨励金制度を

は、値下げ分の価格を表示し坪9万8千円より安い単価をさせないのか、また村長は、いろんな方向から考え独自の販売方法を考えるといっていました。それはどのような方法をとったのか、どのような効果があったのかお聞かせ願います。

村長 土地の販売方法につ

いては、いろんな分野に足を運ぶ考え、あるいはいろんな分野の不動産業に、謝礼金もあるのでは、お客さんを見つけていただくということを考えていこうということ。値段が高い、坪9万8千円というのは、今評価額

が下がっているのは事実です。今まで買っていたあなたお客さんもいるということ。で、その辺の抵抗感も相当あると、奨励金制度は実質の値下げ、その差額はどうしてこれという話もあります。現段階では値下げをしてやろうということは考えておりません。

岡部 土地の価格に関しての考えはわかりました。いろいろ問題ですが、泉崎村には村外から来て養豚業をやっている方もおります。その近くを通りますが、あまり悪臭を感じたことがありません、ぜんぜん臭わないわけではありませんが、養豚業はいろんなやり方があると思えます。村当局で対策を考えているということですが、臭いの少ないところもあるということ。頭に入れてもらって、少しでも売れるようにしてください。また村長だからこそ、いろんなアイデア、いろいろなことができます。あと6ヶ月、半年あります。すばらしいアイデアと行動を期待しまして、私の質問を終わります。

次期定例会のお知らせ！

11月30日からの予定です。

一般質問は12月3日(金)の予定
—— 傍聴にお越し下さい。 ——

【6月】

- 13日 第28回議会議長杯ゲートボール大会
- 20日 第8回県南支部男子選抜ゲートボール大会
- 20日 カラオケ発表交歓会
- 21日 泉崎村農業委員会定例会
- 24日 例月出納監査
- 25日 西白河地方町村議会議員ゴルフ大会
- 26日 eー村民竹の子掘り交流会
- 27日 泉崎村友の会総会
- 28日 泉崎村議会議員研修会
- 29日 ”

【7月】

- 2日 泉崎村さつき公園プール安全祈願祭
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 西白河地方議会議員研修会
- 11日 泉崎村国際交流協会
「バーベキュー交流会」
- 13日 議会だより編集委員会
- 15日 ふくしま駅伝「泉崎チーム結団式」
- 16日 交通安全テント村
- 21日 泉崎村農業委員会定例会
- ” 会津田島祇園祭及び交流会
- 23日 例月出納監査
- 31日 eー村民夏野菜収穫交流会

【8月】

- 3日 平成21年度決算監査
- 4日 ”
- 8日 第三回クリーンアップ作戦
- 11日 民生委員推薦委員の委嘱状交付式
- 20日 白河地方水道用水供給企業団定例会
- ” 泉崎村農業委員会定例会
- ” 西白河地方町村議会議長会
- 24日 町村議会正副議長・事務局長会議
- 25日 例月出納監査
- ” 花いっぱい運動コンクール審査会

【9月】

- 3日 第3回市町村対抗 福島県軟式野球大会結団式
- 5日 県南地方総合防災訓練
- 6日 議会運営委員会
- 9日 泉崎村議会定例会・本会議
- 14日 泉崎村議会定例会・一般質問
- 15日 泉崎村敬老会
- 16日 泉崎村議会定例会・本会議



「実りの秋」、「スポーツの秋」と形容される秋。しかし、今年ほど天候不順による農作物不作不良、不安定で農家と消費者の方々を苦しめた年はなかったかと思えます。ただ、微笑ましいことは、敬老会での元気な高齢者と運動会で無邪気に頑張る保育所と幼稚園の子どもの姿です。

この方々を含めた村民の為に、議員一同頑張ります。

この議会だよりのこと、議会のこと、村政のこと等の提言・ご意見をお寄せください。

編集・発行責任者

議長 中野目正治

編集委員会

委員長 田崎 一年

副委員長 本柳 正孝

委員 岡部 英夫

” 星 一

” 飛知和良子

” 鈴木 盛利